

令和7年度 第2回地域ケア推進会議



令和7年1月28日(水)

18時30分～20時

市川市役所第1庁舎 5階 第3委員会室

本日の議題

01

第2層生活支援
コーディネーター
の活動紹介

02

令和6年度に開催
した地域ケア会議
について



03

事例を通じた地
域課題に対する
対応の検討(グ
ループワーク)

本日の議題

01

第2層生活支援
コーディネーター
の活動紹介

02

令和6年度に開催
した地域ケア会議
について



03

事例を通じた地
域課題に対する
対応の検討(グ
ループワーク)

市川市における生活支援コーディネーターの役割

第1層SC（5名）

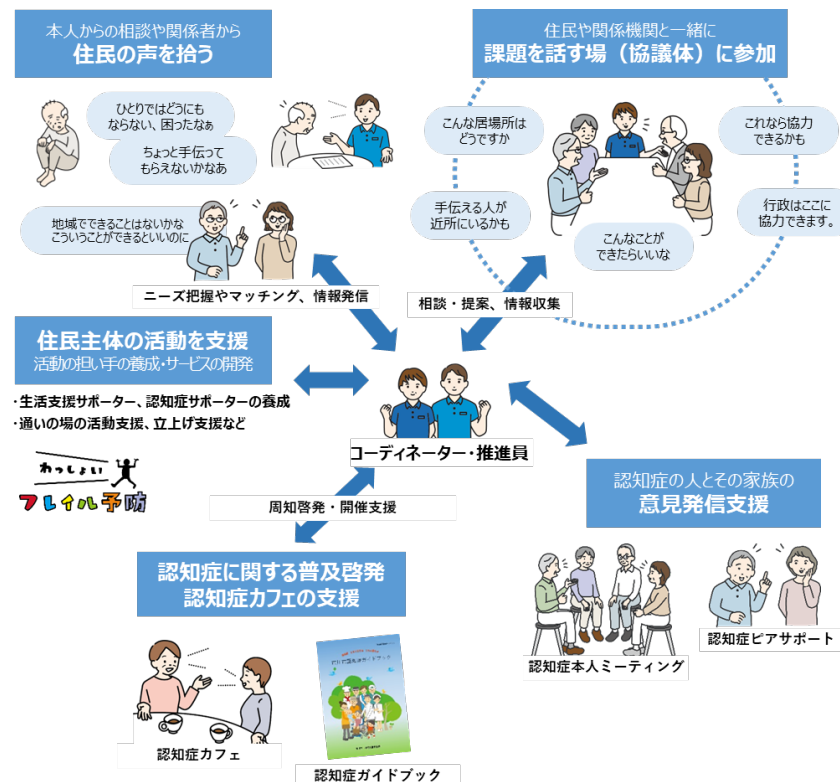
地域包括支援課（4名）
地域共生課（1名）



相談・共有・協働

第2層SC（15名）

各高齢者サポートセンター



実際の活動事例報告



事例 1

独居の認知症高齢女性。ご本人からは「地域で仕事やお手伝いをしたい」と希望あり。ご本人は以前近所の花壇のお手入れの手伝いをしていた。



近所の小学校で花壇の整理を行っているサポーターと、ご本人をマッチングした結果、サポーターとして活動することとなる。



ご本人が地域で役割を持ち、活躍の場が生まれた。また、住み慣れた地域の住民同士の交流の機会や地域と繋がるきっかけになった。



事例 2

呼吸器疾患で在宅酸素を使用されている要支援認定を持つ高齢女性。ゴミ捨て場が遠く、ゴミ出しの対応に苦慮していた。



SCが本人宅へ訪問し、現在のゴミ出しの状況やご本人の身体状況などを確認。ボランティアセンターに連絡し、ゴミ出し可能なボランティアとマッチング。



週 1 回ゴミ捨て支援開始。ボランティアセンターとも引き続き連携し、利用状況の確認や新たな課題がないかも共有している。

高齢者の生活に関連した事業

◆市川市ゴールドシニア外出支援事業「チケット75」

令和5年度から開始。バス・タクシー券を交付

令和7年度4月1日～9月30日までの申請

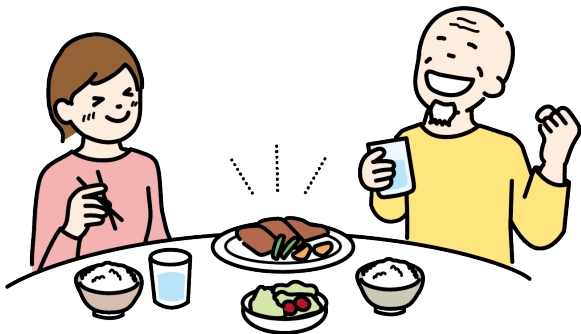
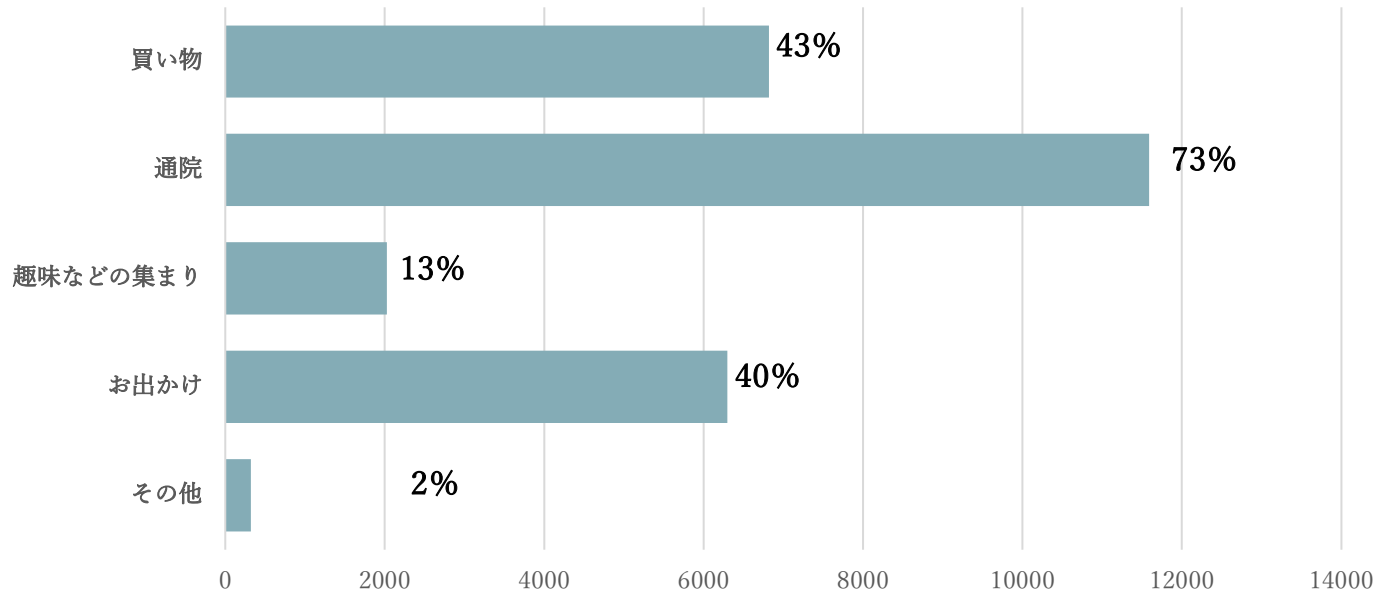
◆その他

- ・移動販売（スーパー、ドラッグストア）
- ・デマンド型乗り合いタクシー信篤地域運行事業



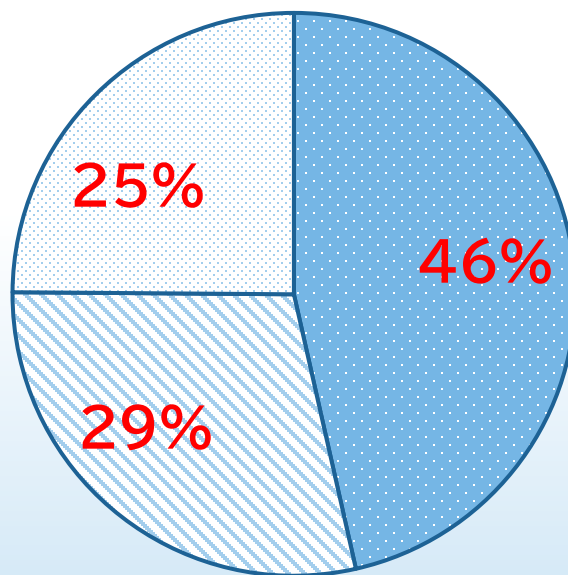
チケット75に寄せられた意見①

チケット利用の目的



チケット75に寄せられた意見②

バスとタクシーどちらをよく使いますか



- バス
- ▨ タクシー
- ▤ 両方



本日の議題

01

第2層生活支援
コーディネーター
の活動紹介

02

令和6年度に開催
した地域ケア会議
について



03

事例を通じた地
域課題に対する
対応の検討(グ
ループワーク)



1. 地域ケア会議とは

介護保険法第115条の48 第1、2項より

多様な職種（介護支援専門員、保健医療及び福祉に関する専門的知識を有する者、民生委員その他の関係者等により構成される会議。

他職種が協働し、介護等が必要な高齢者の住み慣れた住まいでの生活を地域全体で支援していくことを目的とする。

市町村は、個別ケースの検討により共有された地域課題を地域づくりや政策形成に着実に結びつけていくことで、市町村が取り組む地域包括ケアシステムの構築に向けた施策の推進にもつながることから、市町村とセンターが緊密に連携し、かつ役割分担を行いながら、取組を推進していくことが求められる。



2. 地域ケア会議の目的

(1) 個別ケースの支援内容の検討を通じた次に掲げる取組の推進

①地域の介護支援専門員の、法の理念に基づいた高齢者の自立支援に資するケアマネジメントの支援

②高齢者の実態把握や課題解決のための地域包括支援ネットワークの構築

③個別ケースの課題分析等を行うことによる地域課題の把握

(2) 地域づくり、資源開発並びに政策形成など、地域の実情に応じて必要と求められる取組の推進

3. 地域ケア会議の機能

(1) 個別課題解決

(2) 地域包括支援ネットワークの構築

(3) 地域課題の発見

(4) 地域づくり・資源開発

(5) 政策の形成

地域ケア推進会議にて地域課題を市レベルで検討



4. 過去の地域ケア推進会議より

令和4年度：居場所づくりの取組みと課題

令和5年度：高齢者の居場所について

令和6年度：①居場所への移動支援

②事例を通じた地域課題に対する対応
の検討(認知症)

5. 令和6年度の地域ケア会議の振り返り

地域ケア個別会議 開催実績 計60回

内訳	市主催	高サポ主催
開催回数	30件	30件
検討された地域課題	・交流・通いの場 ・外出・移動手段 ・独居高齢者 ・閉じこもり・孤立 など 対象者の自立支援に向けた課題が多い	・独居高齢者 ・金銭・郵便管理 ・認知症 ・見守り体制 ・ゴミ出し・買い物 など 地域での個人に対する支援が必要な課題が多い

市主催・高サポ主催の地域ケア会議で挙げられた

「独居高齢者」はどの圏域でも多く検討される地域課題

6. 独居高齢者数の推移

65歳以上の一人暮らし高齢者数は、介護保険制度が創設された2000年(平成12年)に比べて2020年(令和2年)では、国は約2倍、県は約3倍、市川市は約2.5倍に増加している。

	2000年(平成12年)	2020年(令和2年)
国	3,032,000人	6,717,000人
千葉県	97,654人	299,889人
市川市	8,817人	22,414人

(出典)

- ・高齢社会白書
- ・総務省「国勢調査」による人数

7. 地域課題「独居高齢者」について

独居高齢者であることが支障となる要因

個人の課題

- ・孤立・孤独による生きがいなどの意欲低下
- ・フレイルになる可能性
- ・身体的・精神的な異変に気付ける人がいない
- ・サービスなどの手続きが滞る



地域の課題

- ・地域活動や社会資源が住民の中で浸透していない
- ・自治会だけでは、見守り体制に限界がある。
- ・地域とのつながりが希薄

他者と交流を持たず、自宅に孤立していることで認知症の進行や体調不良に気づけない

ライフラインなどの必要な手続きができていない

地域ケア会議でも多く検討される
地域課題

地域活動や社会資源が住民に知られていない

地域とのつながりがなく孤立

地域での見守り体制ができていない

本日の議題

01

第2層生活支援
コーディネーター
の活動紹介

02

令和6年度に開催
した地域ケア会議
について



03

事例を通した地
域課題に対する
対応の検討(グ
ループワーク)

グループ ワークの 進め方



- ①自己紹介(2分)
- ②事例紹介・検討事項の確認 (1分)
- ③意見交換(30分)
- ④発表(12分)

事例紹介



独居でペースメーカーを埋め込んでいる高齢男性

妻が他界後1人暮らし。1人息子はいるが遠方の他県に住んでおり、他に身寄りはいない。

妻が元気な頃は地域の活動にも参加していたが、歩行が不安定、発語も不明瞭なため人と会いたくないと、自宅に閉じこもりがち。

週に1回掃除のためヘルパーが入っている。ケアマネジャーは訪問診療や訪問看護などのサービス導入を勧めているが、本人は積極的な支援を望まず。

検討事項

事例を通した地域課題

「独居高齢者の見守り、
閉じこもり・孤立予防」

に対する対応について



① 事例の高齢者を地域で見守るには・・・

② 事例の高齢者が地域で活動的に、地域で共に
暮らし続けるためには・・・

◇地域でどのようなことができるか？

◇地域にあるものでどのようなものや仕組みを
活用できるとよいか？

◇地域でどのようなものや仕組みがあるとよいか？

それぞれのお立場での

アイデア出しをお願いします

発表の ルール



1グループ3分以内で発表

グループで出た意見の中から

1～2個 選んで発表

次の発表者は出ていない意見を発表